

令和元年5月9日

保護者 様

ふたば保育園

園長 松田トシ子

子どもの事故について（号外）

5月8日、大津市で保育園の子どもの横断歩道待機中の子どもの列に車が突っ込むという痛ましい事故が発生しました。

このことを、ふたば保育園でも早速、自分の園のものとして職員会議を開き、園での安全保育をしっかりと確立して子ども達の命を守ることの大切さを話し合い、次の確認をしました。

◎ 園外保育の通る道筋を確認しておくこと

◎ 3歳未満の園児は、園庭以外には出ないで遊び、保育Ⅱ期（6月～8月）まで、テラスや園庭で遊ぶ

その折に、ふたば保育園で今一番気遣われている危険は、園の駐車場での保護者の皆様と子どもの動きが問題となり、その状態はいつ事故が起こっても不思議のないことが、職員の話合いの中で問題となりました。

それは、駐車場での子どもの動きです。車から急いで走り出す子ども。それが、大人の方々の立ち話等で、その子どもの様子が確認されていないことが多いように思われます。

この園の駐車場の状態を危険のない安心なルートにのせて欲しいのです。

事故が発生してから悲しんでも遅いのです。 駐車される一人ひとりの方々の意識の問題だと思います。門扉を開けたままの状態も多いのです。出入口の扉は一人ひとり必ず閉めて下さい。極めて常識的なことですが、開かれていることが多いのです。園児や保護者の皆様の命に関ることです。悔いを残すことは今日のこの日から改めて下さい。保護者の皆様全員に心からのご協力をくれぐれもお願いします。

※そして、私たち保育者が子ども達の命を守り、安心して保育できる場所にして下さるよう、とても大切なことですので、園だよりの号外にしました。是非必読下さい。